～第４９回白沢地区ソフトボール大会～

５９チームが参加し、松沢１区が見事初優勝！

第49回白沢地区ソフトボール大会は、８月19日に白沢運動場をメイン会場に59チームが参加して予選トーナメントが開催され、この日勝ち上がった８チームによって８月26日に同会場で決勝トーナメントが行われました。

決勝戦は、初優勝を目指す松沢１区と７年ぶり３度目の優勝をねらう稲沢３区Ａとの対戦となりました。

▲見事、初優勝を収めた松沢１区の皆さん

その結果、松沢１区が見事初優勝を収めました。

なお、この大会は昭和34年に夏季レクリエーション大会として第１回目の大会が始まり、昭和39年には村民スポーツデイと名称をかえ、さらに、平成２年からは当大会として開催されており、今年で49回を数える白沢地区の歴史ある大会です。

長年の功績に国土交通大臣感謝状が贈られる

▲県道二本松・三春線の沿道１㎞に、ひまわりやマリーゴールドを植栽している伊藤さん

道路の美化清掃等の長年にわたる顕著な功績が認められ、平成19年度福島県優良道路愛護団体等表彰の道路美化部門で、伊藤広勝さん（和田字上明石内）が、国土交通大臣感謝状を受賞し、８月29日に福島市で表彰式が行われました。

伊藤さんは、和田地内の県道二本松・三春線の沿道１㎞にわたり、花々の植栽や路面清掃などを平成５年から行っており、今年で15年目を迎えます。今回の受賞にあたり、「道路環境美化のため、これからも続けていきたい」と受賞の喜びを語っていました。

▶市長に感謝状受賞の報告をする伊藤さん

カメラ散歩
～まちのホットな話題～

「カメラ散歩」では、皆さんの「ホットで楽しい」話題を掲載しています。皆さんからの情報もお待ちしています。

秘書広報課広報広聴係　☎33－1111(内線223)

お風呂に入ったり、おしゃべりしながら楽しく過ごしませんか？

～高齢者ふれあいプラザ無料招待～

高齢者の健康増進と生きがいづくりのための「高齢者ふれあいプラザの無料招待」が、９月５日と12日、13日に荒井と岩根のふれあいプラザでそれぞれ行われました。これは、９月の敬老月間にあわせ、市民の皆さんを招待したものです。

この施設は、介護予防施設として平成11年と13年に国の補助事業で建設されたもので、入浴したり、おしゃべりを楽しみながら、高齢者の皆さんがコミュニケーションを図り、生きがいと健康づくりのために役立てられています。

国体出場をかけ、４種目で熱戦を展開

対岩手県戦でシュートを決める吉原選手

平成19年度国民体育大会東北ブロック大会・第34回東北総合体育大会ハンドボール競技大会は、８月23日から26日までの４日間、本宮市総合体育館など市内３つの会場で行われました。

この大会は10月に秋田県で開催される、秋田わか杉国体出場をかけた予選会を兼ね、少年男子・女子、成年男子・女子の４種目で熱戦が展開され、福島県は少年男子、成年男子・女子の３種目で国体出場を決めました。

また、少年男子には福島東高校３年の吉原雄二選手（高木字井戸上）が出場し、攻守に活躍をみせました。吉原選手は、小学生から本宮ハンドボールスポーツ少年団に所属して活躍し、今回県選抜選手として試合に臨んだものです。

災害に備え、防災訓練を実施

地震などの自然災害を想定し、被害を最小限に抑え、防災に対する意識を高めることを目的とした、糠沢地区合同防災訓練は、９月２日に糠沢小学校体育館と校庭で行われ、糠沢地区の皆さんら150人が参加しました。

マグニチュード6.5の地震が発生したとの想定により訓練が開始。バケツリレーで火を消したり、40本の消火器を使っての消火訓練、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）を使った蘇生訓練、大型炊飯器で非常用のご飯を炊く、炊出訓練などが実施されました。

農村環境を守る活動組織に３団体が採択

農村環境の保全のため農地や水利施設などを維持・管理する地域ぐるみの共同活動に、国が交付金を支給する「農地・水・環境保全向上対策」の共同活動支援事業に、市内３つの団体が新たに協定を締結しました。

新たに採択されたのは、仁井田３区グリーンクラブと、白岩第５区環境保全会、白岩第８区環境保全会で、平成19年度から平成23年度までの５年間に行う農村環境向上のための活動に対して交付されます。なお、現在市内ではこのほかに17団体が、同交付金の交付対象活動組織に採択されています。